

会 議 録

1 会議名

平成29年度第6回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

（1）牧区の課題検討について（公開）

○報告事項

（1）牧区・清里区地域協議会合同研修会について（公開）

（2）平成28年度 上越市地域協議会の状況について（公開）

3 開催日時

平成29年9月26日（火）午後6時30分から午後7時50分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：丸山 進（会長）、飯田秀治、折笠弘志、佐藤祐子、清水薫、中川よしえ、
西山新平、前山美智弘、渡辺喜一

・事務局：牧区総合事務所 高橋所長、橋詰次長、宮腰G長、綿貫班長、近藤主任

8 発言の内容（要旨）

【橋詰次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【丸山会長】

・挨拶

【高橋所長】

・挨拶

【丸山会長】

・会議録の確認：佐藤祐子委員に依頼

【丸山会長】

協議事項（1）牧区の課題検討について、事務局に説明を求める

【綿貫班長】

資料により説明

【丸山会長】

資料2については、地区懇談会での質疑内容を改めてジャンル別に整理したものとの説明があった。今日はこれらを参考に、どういう手法で牧区の課題検討を進めるか、また、資料1で示されたように、どんなテーマに取り組むか、取り組むテーマはいくつ取り上げるのか、そのあたりをお決め願いたい。

定例会とは別に、部会を開催していくことになるが、なるべく内容の濃い審議とするとともに、委員の負担にも配慮した形が求められると思う。

【飯田委員】

正副会長も、部会には参加するか？

【丸山会長】

部会には参加する。二つの部会であれば、正副会長は分かれて所属したい。

【飯田委員】

協議会委員の人数からも、多くのテーマに取り組むことは困難である。したがってイメージ3に賛成する。

【折笠委員】

同様な理由でテーマは一つ、あるいは二つくらいがいいのではないかと。

【清水委員】

私も同様である。

【前山委員】

班編成を問われているのか？

【丸山会長】

班編成というよりも課題検討の進め方を提案している。テーマの数により班編成は変わるもの。同時並行してお考えいただきたい。

【前山委員】

これを今、審議するよりも、牧区の課題は何かをもっと議論すべき。そこでテーマが1本に絞ればいいし、そうではなく2本、3本となればそういう体制を作らなければならない。

他区の審議の資料を見ているが、牧区は区の規模から言っても、一つに絞るべきではないか。まずは、近々に解決しなければならない課題はなんなのか。そこを議論すべき。

【渡辺委員】

イメージ1で二つのテーマを合わせて2班でやる、もしくはイメージ3かな、と考える。

【丸山会長】

今、お聞きした限りでは、イメージ3かなと思う。しかし取り上げるテーマは何か、これから話し合いを進めていく中で、一つにまとまらなければイメージ1もあり得る、ということよろしいか。

【一同】

異議なし

【丸山会長】

それではテーマを絞っていきたい。牧区は過疎高齢化の地域なので、課題は多いと思われる。中でも、解決可能な問題、解決はできないが地域へ啓蒙していく問題、それすらできず我々には手におえない問題など、いろいろあろうと思われる。地区懇談会の資料等も参考にしながら、出していきたい。

前山委員は前回から、空き家問題を取り上げている。これにからめて少子化・人口減少問題もかかわってくると思う。各委員いかがか？

【清水委員】

十日町の視察でも、よそから空き家を活用して人を呼び込んでいる。そんな切り口でいけば、少子化対策にも話が及ぶはずである。したがってテーマは「空き家対策」でよ

いのではないか。

【丸山会長】

空き家対策の中で少子化にも取り組んではどうかとの提案である。佐藤委員はどうか。

【佐藤委員】

道路沿いの空き家の景観の悪さ、持ち主不明の空き家、処分手続き、費用など、いろいろな視点のある課題だと思う。過去に牧区では、空き家に入ったお宅が火災になった事例があり、よその方が空き家に移り住むことをあまり好まない風潮はある。そういう対策や利活用の視点、そしてもう一方は登記や除却といった視点で進むというのはいいのかもしれないと思う。

【中川委員】

地区懇談会のテーマでは、地域活動支援事業が多い。地域活動支援事業の在り方を検討するのもよいのではないか。

【丸山会長】

地域活動支援事業は春に検討しているし、新年度が近くなればまた検討がある。

【中川委員】

もし、空き家を取り上げるのであれば、民生委員が地域の高齢者や空き家の情報を持っているので、民生委員と情報交換をするのがよい。

【丸山会長】

そこは検討手法の問題であるので、テーマが空き家に決まった次の問題である。ひととおりにお聞きしたが、テーマは少子高齢化等も含めた、大きな括りとして「空き家問題」としてよいか。

【一同】

異議なし

【丸山会長】

空き家のほかに、どうしてもこのテーマを取り上げてほしい、というテーマはあるか。

【中川委員】

ごみは取り上げられないか。

【折笠委員】

地区懇談会でごみの話題が出たのは、ごみの出し方や分別方法など、質問の類の話で

ある。

【丸山会長】

新クリーンセンターがらみで、新しい分別方法などが必要であれば、これから広報がなされていくことと思う。

今回、人口減少・少子化などを含めた、大きな括りとして「空き家対策」1本としてよいか。

【飯田委員】

以前、行政が空き家情報を集めたことがあったと思う。今は全くそういう情報は、行政では持ち合わせていないのか。

【高橋所長】

高齢化率50%を超える22の集落では、「集落カルテ」の作成をお願いしており、その中で空き家の件数は押さえているが、どんな状態かなど、詳しい情報は記載されていない。また、その他の集落では全く情報は持ち合わせていない。カルテでは60件弱ぐらいの空き家がカウントされていたと記憶している。

【丸山会長】

取り組みを進めていけば、それらの問題にも突き当たることと思う。前山委員どうか。

【前山委員】

皆さん、今はカテゴリーで分けて項目だけを言っているが、私はさらに質問内容を詳しく見てみた。そこでは、空き家の情報発信をしてくれというのが3件、危険空き家を何とかしてくれというのが3件、漠然と空き家が増えている、という意見もあった。また、空き家をどうしたら撤去できるか教えてほしい、というものもあった。

牧区を去る、あるいはお亡くなりになり家が絶える、そういう際にはなんらかの手を打って、家を除去できる方法がないかを考えたい。前向きな話では、情報発信をして、誰かに住んでもらうとか来てもらうとか、本当はそういう話をすればいいのだけれど、そうではなく、この夫婦は何年後にはここを去る、このお宅の子どもはもうここには帰ってこない、だから確実に空き家になる。そのような調査をやったうえで我々がプランを練って、その撤去に要する費用を何らかの形で手当てできるような施策を市に訴える。2年か3年かけてそこまで持っていきたいと考えている。

【丸山会長】

それでは、空き家対策を大きなテーマとし、イメージ3の形に添って取り組むということによろしいか。

【一同】

異議なし

【丸山会長】

この部分はそういうことで決めさせていただいた。

次に、大きな「空き家対策」というテーマの中で、部会に分かれてどういうものやっっていくかということになる。次回までに皆さんから考えていただくと同時に、私どもと事務局とでも一つのたたき台を作っておく、そんな進め方でよいか？それとも、今ここで議論をして決めたほうがよいか。

【中川委員】

空き家問題を考えるときに、空き家といえども個人の財産であるわけだが、そういうものに対して、我々が何かを言うことができるのか。

【丸山会長】

個人財産を処分するなどということは我々にはできないこと。空き家になることをどうしたら未然に防げるか、あるいはこの先空き家になりそうなものに対しては、管理方法を検討していく、などのことが考えられる。

集落によっては、空き家になる際の取り決めをしているところもある。

【中川委員】

我々が、集落に対してそのような取り決めの検討を促すことはできると思うが、個人のものに対して「大きなお世話」と言われればそれまでと思う。

【前山委員】

個人のことだからこそ、考えてはいるが、年老いて老後資金も底をついて、もう撤去費用などない。そういう方がどんどん増えるということだ。あちこちに放置された空き家が増える。これこそ誰かが手を差し伸べるべき問題と思う。子どものところへ行く、老人ホームへ入る。ついては300万円、400万円かけて更地にしていく。それができる人は全く問題ない。分かっているけどそれができない、でも集落の人には迷惑をかけられない。そのようなところは誰かが手を差し伸べなければならないと考える。

そして、そのような施策を考える際、まずは調査をしなければならない。今後空き家

になる可能性の対象件数を調べる。行政は、この家には何歳と何歳の人が住んでいる、ということはあるが、そこに住む人たちが、いよいよ体が動かなくなったらどうするつもりか、そこまでは把握できない。

集落の町内会長や民生委員に聞くことになるだろうけれども、そこは我々なり、これを進めていくところが把握しなければならない。そうするとおおよそ20年後くらいまでの、近未来の各戸の状態を地図に落とししたマッピングができる。それらに基づき予算組なり施策を作り、市長に訴えていく、そういうことをやりたいと考えている。

【丸山会長】

それでは、この件はそういうことで進めさせていただく。確かに個人財産であるものを、どこまで突っ込んだ話ができるかとの不安もあるが、行政にアドバイスいただきながら進めたい。中川委員もそういうことでよろしいか。

この問題は、一概にスパッと割り切れるものではないが、困っている皆さんの解決の糸口を作る、そういう観点でこの問題を進めたい。

【高橋所長】

段階を踏んでここまで議論を進めていただいた。地区懇談会に参加し地域の意見を聞き、視察研修で先進地の事例を学び、そのうえで、地域協議会として何を協議していくかの議論を経て今日、最終的に「空き家対策」といことで自主的に審議をしていこうという決定がなされた。

現状を把握するには、行政の資料や支援策を提供しつつ、勉強会などの機会をつくることができると思う。民生委員や地区協議会の方々と意見交換も考えられる。ぜひ次回以降、スケジュール感も含めてよい審議ができるよう、体制を構築していただきたい。空き家問題は全市的な課題であると同時に、牧区固有の悩みもあることと思う。それらも含めて、中山間地域のモデルとなるような案をまとめていただければ、素晴らしいゴールとなるものと思う。どうぞよろしく願いしたい。

【丸山会長】

それでは、次回までに空き家問題に関する細部のところで、どういう部分がネックになっているのか、住民の皆さんはどういう部分を解決してもらいたいと考えているか。などを委員の皆さんから書き出していただき、それを仕分けする中で班分けなども考えたい。事務局でもたたき台を作るようお願いしたい。

【前山委員】

会長はスケジュールをどう考えるか。

【丸山会長】

定例会はこれまでどおり月1回の開催とし、その間で、リーダーを中心に部会を随時開催していただく。2か月なり3か月ごとに全体会に報告していただき、皆で進捗状況を確認しながら進む。報告のタイミング等は各部会にお任せする、ということでどうか。

【高橋所長】

前山委員のプランで言えば、現状を把握するだけでもかなりの時間を要すると考える。皆さんの任期はあと2年半だが、任期いっぱいぐらいかかるとのスケジュール感が必要と思われる。今年度中に結論を得る、といったスパンでは難しいと考える。

【中川委員】

そこで、民生委員との情報交換を行い、現状の話聞くことが必要だ。我々が1軒1軒訪ねて、状況を聞ける立場ではない。

【渡辺委員】

私は民生委員も兼務しているが、我々が把握しているのは高齢者の一人暮らしとか、高齢者のみの世帯であって、空き家の情報までは把握していない。我々が対象にしているのは人であり、この家にどういう人が住んでいるかというのは、担当の地区内は大体把握しているが、それ以外は話し合いをしてもあまり意味がない。

【中川委員】

担当地区の中で、空き家を把握していないのか。

【西山副会長】

民生委員さんは空き家の場所は把握していない。空き家になりそうだというのは感覚でとらえているかもしれないが、そこまでである。民生委員と打ち合わせをしろというのは無理である。集落ごとに調べるのであれば町内会長に聞くほうがよい。

【中川委員】

手法を決めなければ次にどうしろと言われても困る。

【丸山会長】

町内会長あるいは民生委員との話し合いや、我々が集落に入って聞き込みをするとかの手法については次回に出していきたい。

【中川委員】

次回までにその方向性を示すということか。

【丸山会長】

今日は、各委員が自分の意見もまとまっていないと思うので、各自次回までに考えてほしい。

【飯田委員】

次回の協議会までに、各委員の意見や進め方を提出したうえで、事務局からたたき台を作ってもらおうことかどうか。

【前山委員】

結論をどこに持ってくるかという話に絞ってやればよい。所長の話のとおり、これだけのボリュームがあったら、今期中に市長あてに意見書など出せるかということ。

私はもともと、まず3月末までに牧区の実情をマッピングしたものを作り、市長に提出し、この実情を考えてくださいと問題の投げかけを行う。その間に、我々はこのやり方にしたいというものを作り、第2段として出していく。

まずは今期3月末までにどこまでのものを作るか議論すべき。

【丸山会長】

スケジュールに関し、前山委員の考えが示された。皆さんいろいろな考えがあるものと思う。すべて出していただき議論したい。御協力いただきたい。

それでは次に進める。

【渡辺委員】

次回、来月は20日の清里区との合同研修会。この内容に空き家対策に関するところがあるが、これは今、我々がやろうとしていることとは別のところか。

【丸山会長】

清里も同じ問題があるはずで、その場で意見交換することもよいと思うが、まとめることはできない。

【渡辺委員】

ということは、10月に20日とは別にもう1回会議を持つということか。

【丸山会長】

同意いただければ、10月25日ごろかあるいは月末に、この問題に関し全体会議を

開催して詰めていきたいと考える。では報告事項に移る。

【綿貫班長】

報告事項（１）、（２）について資料により説明

【丸山会長】

各区の地域協議会の実情が、細かくデータで示された。各自参考にしてほしい。

【綿貫班長】

配布物について説明

【丸山会長】

その他、委員からの意見等を求めるが無く、会議の閉会を宣言する。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。